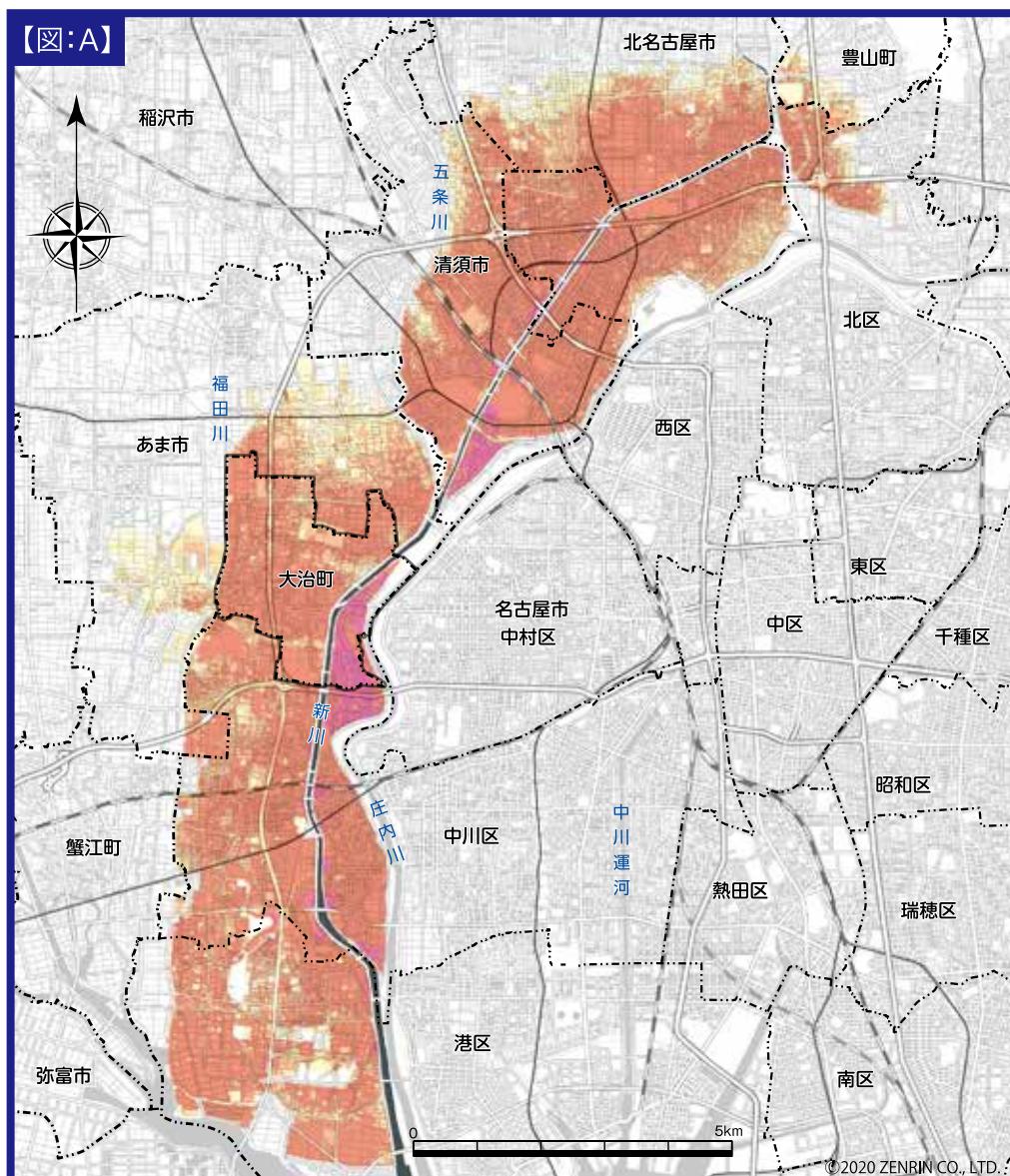


# 新川 洪水浸水想定区域図

## 想定最大規模

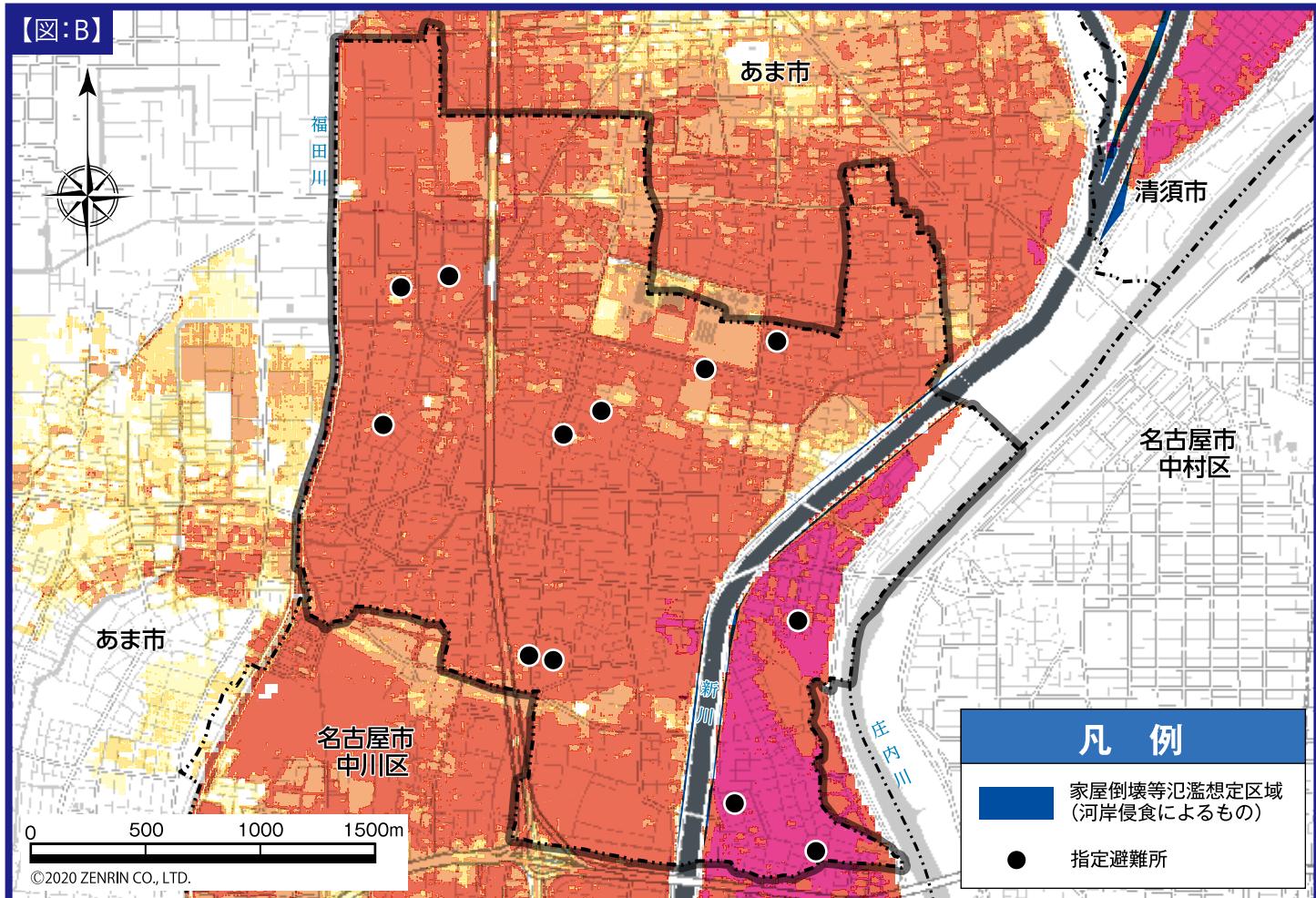
- (1) これらの図は、庄内川水系新川の洪水予報区間について、【図:A】水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深、【図:B】家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）、【図:C】水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) これらの図は、指定時点・公表時点の新川の河道及び内水排水施設等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により新川が氾濫した場合の浸水の状況・河岸の侵食幅をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域等に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合、浸水継続時間が異なる場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、新川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
- (5) 指定及び算定の前提となる降雨 新川流域の24時間総雨量 751mm
- (6) 作成主体 愛知県海部建設事務所 (0567-24-2111)
- (7) 指定年月日 平成30年3月23日
- (8) その他計算条件等  
【図:A】及び【図:C】は、新川の洪水予報区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
【図:A】及び【図:C】は、新川の河口より上流において、河口部の水位を計画高潮位 (T.P.+4.02m) として洪水流量のピークと重なるように設定するなど、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

## (広域図)



凡例	
浸水した場合に想定される水深	
5.0~10.0m未満の区域	5.0m
3.0~5.0m未満の区域	3.0m
1.0~3.0m未満の区域	1.0m
0.5~1.0m未満の区域	0.5m
0.3~0.5m未満の区域	0.3m
0.3m未満の区域	0.3m

## (拡大図) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)



## 浸水継続時間

